

第2学年西組 国語科学習指導案

「知りたいこと発見！資料を読み比べて生き物の飼い方を調べよう」

学習指導者 石田 真理

1 学級（32名）の実態

（1）共に学びを進め合うことに関する学級の実態

本学級の子供たちは、質問紙調査の結果、振り返りに関する項目で「できた（できなかった）理由を考えているか」に対して肯定的に回答した子供は17名である。前単元「かんさつしたことを書こう」でも、できたことが書けた子供の中で、その理由まで書けている子供は10名と少なく、課題解決できた理由を振り返ることに課題が見られる。友達の発表を聞いて自分がよいと思った振り返りを付け足している子供が20名程度いる。

（2）本単元の学習に関する学級の実態

第1学年の説明文「さとうとしお」では、何について説明しているかを考えながら読んだり、二つのものを視点ごとに比べながら読んだりする学習をしている。レディネステストの結果からは、説明文を読んでも問われていることの答えに当たる叙述を見付けられている子供は17名と少なく、全く違う部分や不要な部分を選んでおり、知りたいことを文章中から正確に見付けられていない子供もいることが伺える。

2 本単元で目指す「共に学びを進め合う子供」の姿と習得を目指す「振り返る」方法

課題設定

「生き物を飼うために、知りたいことを見付けられるようになる」という単元の目標達成に向けて作成した学習計画を基に、前時までにできていることを確認し、本時取り組むべき課題を設定する。

解決の見通し

設定した課題を解決するために、これまでに学習したもの（読みの技）の中からどんなものが使えるか解決の見通しをもつ。例えば④時では、『知りたいことにつながるのある言葉を探す』という読みの技が使えるだよや「知りたいことにつながるのある言葉は見出しを見るとよかったよね」「そうそう。いきなり本文を読むんじゃなくて、見出し、本文の順に知りたいことにつながるのある言葉を探して読むと、前の時間は『住んでいる場所』『食べもの』についての答えが見付かったよね。今日の『世話の仕方』を調べる時にもそうしよう」などと、前時までの経験を想起し、解決するためにどのような取り組み方で学習を進めていくか見通しをもつ。

解決

知りたいことを見付けるために複数の資料を読み比べながら、知りたいことにつながるのある言葉に着目して答えを見付けていく。例えば②時では、まず、一人で『住んでいる場所』という見出しがあったからここを読んでみよう」「その中の場所の名前を探すと『暗くて湿っている場所』と書いているな」「これがダンゴムシの住んでいる場所だ」などと知りたいことにつながるのある見出しを選び、その中の知りたいことにつながる言葉がどれか探していく。その後、友達と「看板ではダンゴムシの住んでいる場所は『暗くて湿った場所』と書いてあったよ」「ガイドブックにも『住んでいる場所』という見出しがあって、『暗くて湿った場所』と書いてあったよ。でも、こっちには『庭の植木鉢の下』や『公園の大きな石の下』、『たくさん積もった落ち葉の中』という言葉も書いてあったよ。こちらは看板より詳しく説明が書いてあるね」などと話し合いながら、複数の資料の題名、見出し、本文に着目し、知りたいことの答えや、その見付け方を捉えていく。

振り返り

方法：「分かった、できた理由（学び方）を振り返る」

本時分かった、できたこととその理由について振り返りカードに記述する。例えば「今日はダンゴムシの住んでいる場所を見付けたよ。それは、『知りたいことにつながるのある言葉を探す』という技を使ったからだよ」「ぼくも『住んでいる場所』と書かれてある見出しを見付けたから知りたいことが分かったよ」「私もその中から場所の名前がないか探したらダンゴムシは『暗くて湿っている場所』という言葉を見付けることができたよ」など理由とともに、分かった、できたことを振り返る。

3 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①時

①時では、生活科と道徳科の学習を振り返る場を設ける。生活科では、生き物がうまく育てられておらず、正しい世話の仕方を知りたいと思っていたこと、道徳科でそのような生き物との関わり方を振り返り、これからはもっと責任をもって世話をしなければいけないと思っていたことを想起することで、生き物の世話の仕方について知らなければならないという必要感を感じられるようにする。その後、たくさんの情報が載っている図鑑を提示することで、「たくさんある情報の中から自分の知りたいことの答えを見付けることは難しそう」「たくさんの情報の中から、自分の知りたいことの答えを見付けられるようになりたい」という思いを引き出し、「生き物を大切に育てるために、知りたいことの答えを見付けられるようになる」という単元の目標を設定する。

4 単元計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時 4/5）

次	単元計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
一	① 学習の計画を立てよう 単元の目標を設定した後、国語科の授業で二つの資料の中から知りたいことの答えを見付ける練習をし、その後、生活科で自分の飼う生き物について知りたいことの答えを見付けるという見通しをもつ。自分が生き物を飼う上で、必要な情報を話し合い「住んでいる場所」「食べ物」「世話の仕方（えさのやり方、環境、そうじ）」「体の特徴（大きさ、形、色、他の虫と違うところ）」の四つを探せばよいことを共有し、学習計画を立てる。	【認知段階】 これまでの学習の中で、学習を振り返るときには、本時分かった、できたことに加え、その理由まで振り返るとよいことを「振り返る」方法として教示している。その際、できた理由を振り返ると、課題解決に有効だった読みの技が分かり、次の時間に生かせるというよさを共有している。
	②③ 知りたいことの答えを見付けよう 教師が提示した2種類（看板とガイドブック）の資料を一読し、知りたいことの答えを探す。その後、どうして答えが見つかったのか理由を話し合うことで、「知りたいことにつながるのある言葉」を探すとよいことを共有する。また、見出しについて知り、その中でも「知りたいことにつながるのある言葉」を探せばよいことを捉える。③時の最後には、見付けた言葉を基に、二つの資料の共通点と相違点を見付けることで、それぞれの説明の仕方によさがあることに気づき、知りたいことに合わせて資料を選ぶとよいことを捉える。その後、二つの資料の中に全ての知りたいことの答えがなかったことから、他の資料からも調べる必要性を感じ、他の資料の中から残りの知りたいことの答えを見付けようとする意識をもつ。	【想起段階】 課題解決後、「何を振り返るとよかったかな」と問いかけ、「振り返る」方法を想起できるようにする。その際、方法の言葉やよさを掲示しておくことで、方法を想起しやすくする。方法の想起がしづらい子供に対しては、個別に補助黒板に残してある振り返りの視点を指差しながら想起を促したり、これまでのワークシートと一緒に確認し「どんなことを振り返ってきたかな」と、問いかけたりすることで、方法を想起できるようにする。
二	④⑤ 他の資料でも知りたいことの答えを見付けよう 未読の4種類の資料を一読し、知りたいことの答えを探す。その際、前時までの資料との違いを確認する中で、題名について知り、本を選ぶ時にも題名を見て「知りたいことにつながるのある言葉を探す」とよいことを捉える。その後、題名、見出し、本文の順に探していき、「世話の仕方」「体の特徴」の答えを見付ける。どのようにして答えを見付けることができたかを話し合い、題名や見出し、本文の中から「知りたいことにつながるのある言葉を探す」と正確に早く知りたいことを見付けられることを捉える。⑤時の最後では、これまでに読んできた資料を見比べ、目的に合わせて説明や図、写真などに違いについて話し合い、単元の学習を振り返る。	☆学しゅうを ふりかえるためには、 分かった、できた りゅう(学び方)をふりかえる つかえる読みのわざが分かる！ つぎに生かせる！ ☆ふりかえることば ～がわかりました(できました)。りゅうは(わけは)…だからです。
三	生活科 自分が飼いたい生き物について知りたいことの答えを見付けよう 自分が飼いたい生き物ごとにグループに分かれ、「住んでいる場所」「食べ物」「世話の仕方」「体の特徴」の知りたいことを見付けるために、これまでの国語科の学習で学んだことを生かし、知りたいことについて書かれていそうな本やその中のまともを選び、答えを見付ける。	【方法の掲示】

5 本時の学習

目標	資料を読み比べながら、知りたいことにつながるのある言葉に着目して、資料を選んだり、知りたいことの答えを見付けたりすることができる。
----	---

学習活動	主な子供の意識
1 前時の学習を振り返り本時の学習課題を設定する。	生き物の飼い方を調べるために、二つのダンゴムシの資料で練習してきたね。 二つの資料に載っていなかった「世話の仕方」の答えを見付けられるかな。 他の資料からも知りたいことを見付けよう
2 前時の学習を想起しながら解決の見通しをもつ。	今日も、『知りたいことに…』の読みの技が使えるそう。知りたいことはえさのやり方や環境、掃除の仕方に関係あることだね。 A 知りたいことを見付けるには見出し、本文の順で見ればいいね。 B でも、全部の本の見出しを読んでいくのは大変じゃないかな。 A 前回と違って今日の資料には題名があるね。まずは、そこを見て関係のある言葉を探すといいんだね。
3 資料の中から知りたいことの答えを見付ける。 (1) 個人 (2) 自由交流 (3) 全体交流	「世話の仕方」を見付けよう。 『大きさ図鑑』には載っていないさそうだから『生き物を飼ってみよう』の資料を読んでみよう。 『ダンゴムシの飼い方』という題名だから、世話の仕方が載っていそうだね。資料を読んでみよう。 「えさ」という見出しを見付けたけれど、「枯葉や枯草、野菜くずや煮干しを入れる」としか書いてないな。 「飼育ケース」という見出しがあったぞ。「プラスチックの飼育ケースで飼える」と書いているな。 友達はどこに線を引いたのかな。聞いてみよう。 交流する時には、どこに、どうして線を引いたのか聞くといいね。 A えさのやり方が書いてあったよ。 B 「あまりたくさんやらない」と書いていたね。 A やっぱり、そこが答えだね。 C 「飼育容器」の見出しの中には、「薄暗い場所に置く」と書いてあったよ。 D そこは見付けていなかったな。教えてくれてありがとう。 題名、見出し、本文の順で「知りたいことに…」と、答えが見付かったね。
4 本時の学習を振り返る。	今日の学習で、分かったことと、その理由を振り返ろう。 A 今日の学習では、四つの資料の中から答えが載っていそうな資料を選ぶことができたよ。題名を見て、知りたいことにつながるのある言葉があるかどうかを考えたら分かったよ。 B 私は、見出しや文章の中の「えさのやり方」につながるのある言葉を探して読むと、「えさを一度にあまりたくさんやらないこと」というのを見付けたよ。友達ともどうやって答えを見付けたかを確認して自信がもてたよ。 今日は「えさのやり方」と、「環境」「世話の仕方」がいろいろ見付かったの答えが見付けられたから、次もどんな見付けよう。 「体の特徴」の答えを見付けよう。

評価	友達と交流しながら、複数の資料やそこに書かれている言葉を比べ、その中の知りたいことにつながるのある言葉に着目し、答えを見付けている。また、課題解決できた理由を捉えている。 【方法：発言、様相、ワークシート】
----	---

～ 課題設定 ～ 学習活動 1

単元を通して、授業の初めには前時に取り組んだことを振り返っている。そして、「生き物を大切に育てるために知りたいことの答えを見付けられるようになろう」という単元の目標達成に向けて作成した学習計画を補助黒板に掲示しておくことで、前時までの進捗状況を捉えやすくし、目標達成に向けて、まだできていないことの中から本時取り組むべき課題が設定できるようにする。

【学習計画】

～ 解決の見通し ～ 学習活動 2

課題設定後に「知りたいことを見付けるためにはどの『読みの技』が使えるですか」と、教師が問いかけることで、②③時で経験したことを基に、「知りたいことにつながるのある言葉を探す」ことが大切であることを意識できるようにする。前時の板書を提示することで、見出しや本文に着目し、「知りたいことにつながるのある言葉を探す」と答えが見付かったという成功体験を想起した後、教師から全ての資料の見出しを一つずつ読んでいけばよいか問いかけることで、見出しを見る前に題名から知りたいことにつながるのある言葉を探しながら資料を選べばよいという見通しをもつ。その後、4種類の資料の中から「世話の仕方」が見付けやすくなるように、「えさのやり方」「環境」「掃除の仕方」に関する答えを見付けていけばよいことを確認する。また、友達と関わった時につけたチェック欄を提示することで友達と交流すると課題解決できたという、友達と関わるよさを想起できるようにし、本時も友達と課題解決をしたいという思いを高められるようにする。

～ 解 決 ～ 学習活動 3

答えを見付けた時には、見出しを囲んで答えに線を引く。その後、交流する際には、交流のモデルを教師が演示することで、どのように交流するか手順を捉えられるようにするとともに、着目したところや、見付けた答えが正しいか確認できるようにする。資料ごとに交流スペースを設けることで、自分が調べている資料に合わせて関わる相手を選べるようにする。また、資料は選べても答えが見付からない子供に対しては、個別に見出しを強調して囲む。また、「世話の仕方」につながるのある言葉が分からない子供に対しては、補助黒板の掲示を基に、「えさをやる時に気を付けることは何かな」などと具体的に問いかけ、つながりのある言葉に着目できるようにする。答えが分からず困った時には、赤帽子を被ることを共有しておき、友達同士で援助し合えるようにすることで、本時の資料の中から知りたいことの答えを見付けやすくする。交流した時には友達と答えが合っているかどうかをチェックしたら、資料にサインをしてもらうようにすることで、振り返り場面で友達との関わりによって課題解決できたことを捉えやすくする。全体交流の際には、学習活動 2 【サイン欄】で立てた見通しを基にこの手順に沿って調べると答えが見付かったか尋ね、題名、見出し、本文の順に『知りたいことにつながるのある言葉を探す』ことのよさを捉えられるようにする。

【交流手順】

～ 振り返り ～ 学習活動 4

「何を振り返るとよかったかな」と問いかけ、振り返る方法を想起できるようにする。その後、振り返りカードで、今日調べて分かった、できたこととその理由を振り返る。その際、分かったことに印を付け、理由を書く際には使った技の番号を選び、その時の様子を具体的に記述する。内容には、どこに着目したのかや、その技を使ったことで見付かった言葉を書けばよいことをモニターに提示することで記述しやすくする。そして、チェックを基に、友達との関わりを想起し、課題解決ができたり、自分の答えに自信をもつことができたりしている姿を価値付け、協働するよさを感じられるようにし、次の時間も友達と一緒に課題解決をしようという意欲を高める。

【振り返りカード】